



チャンディ・ボロブドゥール:「チャンディ」は宗教建築を意味するインドネシア語。石造の一寺院として世界最大級。1990年にユネスコ世界文化遺産に登録された。建造物を俯瞰すると、密教の教えや世界観を表す「マンダラ」と似た構成であることが指摘されている。

文学部  
大学院人間社会科学研究所 准教授

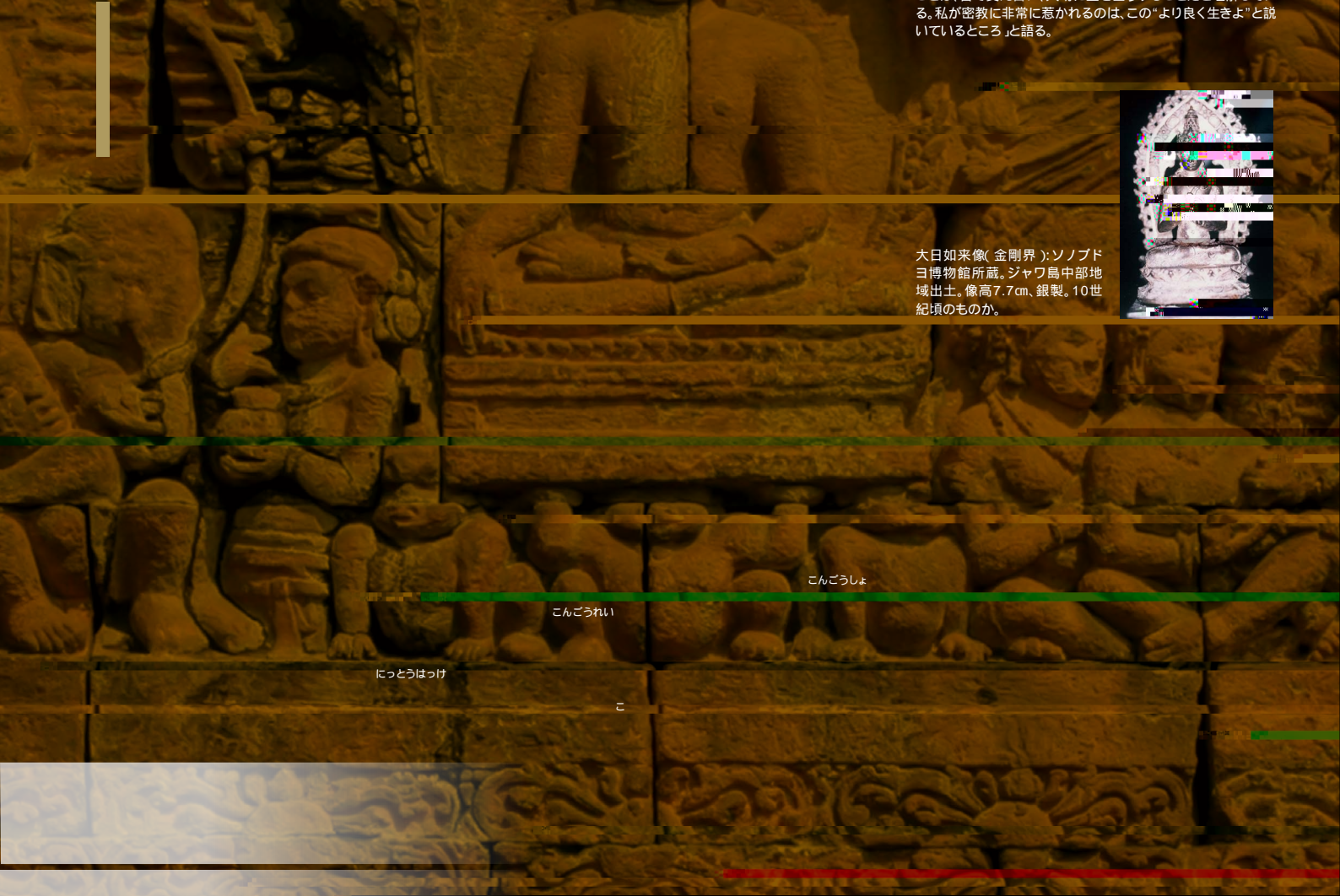
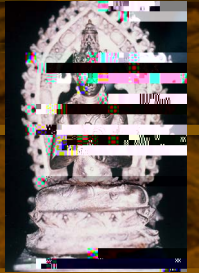
ITOU NAOKO

専門研究分野  
インドネシア宗教美術史



死後ではなく今生で仏、つまり覺りを開いた存在となる「即身成仏」を目指すのが密教の教え。伊藤准教授は「仏になるということは、皆で支え合い、大切に生を全うすることだと理解している。私が密教に非常に惹かれるのは、この「より良く生きよ」と説いているところ」と語る。

大日如来像(金剛界):ソノブドヨ博物館所蔵。ジャワ島中部地域出土。像高7.7cm。銀製。10世紀頃のものか。



にっとうはっけ  
こんごうれい  
こんごうしょ

平安初期に傳に渡り、日本に密教を広めた5人の僧。空海、最澄のほか、宗純、円行、円仁、慧運、円珍、宗叡がいる。

背景写真  
チャンディ・ボロブドゥールの回廊に施されたレリーフの一つ「降魔成道(ごうまじょうどう)」。菩提樹下で覺りを開く釈迦(中央)の邪魔をしようとして、魔(マニラ)から種々の攻撃を受ける様子を描いている。